

## 今週のトピック解説

## 住宅46団体、水まわりの温熱環境改善で推進組織

浴室暖房乾燥機の設置や断熱改修など、住宅水まわり空間の温熱環境を改善するリフォームの普及・拡大を図るため、住宅業界46団体が参加する大規模な推進組織が発足した。パンフレットやテキストといったツールを作成するなどし、住宅業界が一丸となり、水まわりの温熱環境改善リフォームの本格普及に本腰を入れる。

日本の既存住宅の7割程度は1980年の省エネ基準以下のレベルである。特に、浴室・脱衣室・トイレ等の水まわり空間は、温熱環境上の配慮がなされていないことが一般的だ。しかし、冬季に水まわり空間が低温にさらされることで、ヒートショック等の健康上の危険が高まる。

このため、(一社)ベターリビング(以下BL・井上俊之理事長)は2016年から2019年3月まで「住宅における良好な温熱環境実現研究委員会」を設置し、住宅水まわり空間の温熱環境を改善するために実施するリフォーム(以下、温熱環境改善リフォーム)の普及・拡大を図るための検討を開始。シンポジウムの開催や提言書の作成を行った。

今回、同委員会の取り組みを発展させる形で、BLを中心に住宅業界46団体が参加する大規模な推進組織「住宅における良好な温熱環境実現推進フォーラム(以下、推進フォーラム)」(会長:張本邦雄 TOTO 代表取締役会長)が発足。これまで各団体や企業単位で実施してきた取り組みに横串を通しオール住宅業界で活動を行うことで、住宅水まわり空間の温熱環境改善リフォームの本格的な普及に結びつける。

7月9日に開催された第一回全体会議で「一刻も早く住宅の水まわりで温熱環境の整備を進めていかなければいけない」と張本会長は意気込みを語り、BLの井上理事長は「参加団体は住宅関係の団体はほぼ網羅」と自信を見せた。

推進フォーラムでは、一般消費者と住宅事業者に向け、住宅水まわりの温熱環境改善リフォームの普及啓発、理解推進、スキル向上等に取り



「住宅における良好な温熱環境実現推進フォーラム」の第一回全体会議が開催

組む。例えば、昨年度にBLが策定した温熱環境改善リフォームの普及啓発ツール「あたたか住まいガイド」の普及を図る。同ガイドは、住宅の温熱環境が健康に与える影響を一般消費者にもわかりやすく説明したパンフレットだが、推進フォーラムではWHOが提言した「住宅の健康ガイドライン」の内容も盛り込み、今年10月頃までに推進フォーラムで改定したうえで、参加団体に配布する予定。

また、独自の調査研究や、各団体の施策の情報共有、国・地方公共団体の住宅政策等への温熱環境改善リフォーム推進の働きかけなどを行なっていく方針だ。

このほか、BLを通じ、推進フォーラムの各部会における検討状況や、HPの更新、普及ツールの紹介等の情報発信を推進。加えて、フォーラムの参加団体および団体の傘下企業の取り組みの情報共有も行っていく。

これまでも温熱環境改善リフォームの普及に向け、各団体ベースでは取り組みが進められ、医学的なエビデンスも蓄積されてきている。それだけに、今回、45団体が集結することで、いかに住宅業界としてまとまった普及啓発・研究の取り組みを行って行けるかに注目が集まりそうだ。

# Housing Tribune

リニューアルキャンペーン実施中!

新規購読で「選べる書籍プレゼント」

2カ月の試読購読受付中

好評につき  
2019年  
7月末まで

## 今週の主なニュース

7 | 5



7 | 11

・大和ハウス工業 日本初、施工から暮らしまで再エネ由来の電気のみで実現 千葉県船橋市のまちづくりで

・リビタ 茨城県と関係人口創出の取り組みを実施 地域の課題解決でワークショップ

・OYO 賃貸仲介大手のハウスクムと提携 サブスク型賃貸の紹介で

・三協立山 三協アルミ社 コンクリートの風合いを再現したシートフロアを開発 優れたメンテナンス性を発揮

・永大産業 室内ドア、収納の扉などの内装建材に新柄「マットネイビー柄」を追加 インダストリアルスタイルなどにマッチ

・パナソニック ライフソリューションズ社 天窓を人工的に再現する空間演出システム「天窓照明」を開発